

所 信 表 明

平成17年第9回酒々井町議会は、私にとりまして初議会でありますので開会にあたり、感謝のことばと町政運営に関する所信の一端を述べさせていただきます、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

この度の町長選挙におきましては、町民の皆様の暖かいご支援により、第43代酒々井町長に就任いたしました。

ここに、改めて心から感謝申し上げます。

これまで、二期八年間酒々井町の発展のために尽くされ勇退されました綿貫町長のご功績に深く敬意を表しますとともに、多くの行政課題に積極的に取り組み、第4次総合計画第1期基本計画及び第2期基本計画に基づく事業の展開等、本町のまちづくりの方向性を確かなものとされました。

私は、こうした綿貫町長の意志をしっかり受け継いで、さらに実効をあげていくことが必要であると考えております。

さて、私は、地方分権の確立と行財政基盤の強化を図り、地域の特色を活かし、創意工夫を凝らしながら、町民一人ひとりが誇りと愛着を持ち、生きがいを実感できる酒々井町の実現を目指すとともに、町民の視点から、町民の立場に立った町政運営に誠心誠意取り組み、酒々井町政発展のため、渾身の力を傾注してまいる決意でございます。

酒々井町は、歴史と伝統にまつまれた、また緑豊かな自然に恵まれたまちであり、交通アクセスの基盤が整っていることから、都市機能を兼ね備えた住宅都市として発展してまいりました。

今や、2万1千人を超えるまでになっております。

しかし、私たちの酒々井町をさらに活性化させていくためには、少子・高齢化、情報化社会の進展、並びに地球規模による環境問題の意識の高まりなど、時代の変化と要請に的確に対応しながら、教育文化施策の振興、都市基盤の整備及び保健福祉施策の充実を図っていくことが求められております。

そこで、今後の町政運営にあたりましては、これから申し上げますことを指針として、施策の推進を図っていきたいと考えております。

高齢者がいきいき暮らせる町

第1は、高齢者がいきいき暮らせる町であります。

平成19年には、いわゆる団塊の世代の退職がピークを迎えることから、本町におきましても、今後高齢化率の増加が予想されます。

そこで、町民が高齢期を迎えてもはつらつとした日常生活を送れるように、高齢者がそれまで築いてきた豊富な知識と経験を積極的に生かせる機会となる社会参画システ

ムを築くことが必要であると考えております。

さらに、子供から高齢者まで、一生涯を健やかで心豊かに暮らしていくため、町民一人ひとりが「自分の健康は自分で守り、自分でつくる」という意識を持ち、自らが主体的に健康づくりに取り組むことへの支援、また、積極的に健康情報の提供や各種健診の機会の提供など、健康促進に充分配慮するとともに、健康、福祉、介護、生涯学習を担当する分野が横断的な連携により、町民が健康な生活を営めるよう努めてまいります。

活力と活気にあふれる町

第2は、活力と活気にあふれる町であります。

これからの町づくりは、町民が豊かさやゆとりを実感できることが重要であり、緑にあふれた潤いのある環境と、産業経済の活力ある町を目指していかなければならないと考えております。

このため、私は綿貫町政が推進してまいりました酒々井インターチェンジの早期開設と南部地区産業団地の事業をしっかりと受け継ぎ、一刻も早い完成に向けて渾身の力を傾注してまいります。

また、産業経済では、産直システムを支援し、農産物の生産振興に努めるとともに、地場産業の育成、商工業の活性化にも取り組んでまいります。

そして、活力と活気の主役は、町民の皆様であることを再認識し、町民一人ひとりの暮らしを重視し、町民の立場に立ったまちづくりを進めてまいります。

自然災害に強い安心・安全な町

第3は、自然災害に強い安心・安全な町であります。

日本では、昨年からの異常気象による大型台風の上陸や集中豪雨、新潟県中越地震と各地において、大規模な自然災害が発生しております。本町におきましても、昨年9月の集中豪雨により床上浸水等の被害が発生しております。さらに、世界では、インドネシア・スマトラ島沖大地震による大津波で世界でも例をみない大災害に発展し、インドネシアを含む周辺各国が甚大な被害を受けたのは記憶に新しいところであります。

私といたしましては、何時起こるか分からない自然災害を未然に防ぐため、重要な施策として、治水対策の強化を図るとともに、防災に対する町民意識の高揚を図ることが大変重要であると考えております。

また、国内では11月から12月にかけて、下校時の児童を襲った凶悪な犯罪が多発していることなどから、町民の皆様が安心・安全に暮らせる町にするための防犯体制の整備にも努めてまいります。

子供たちが健やかに育つ町

第4は、子供たちが健やかに育つ町であります。

現在は、男女共同参画の時代であり、女性の社会進出等の社会変化に伴い、安心して子供を産み、育てることができる社会は、時代の要請でありその実現のため、子育て支援や教育に全力尽くします。

また、高齢者を含めた地域・家庭・学校が一体となって個性豊かでグローバルに活躍できる健全な青少年の育成環境の改善に取り組んでまいります。

さらに、生涯学習施設であるプリミエール酒々井と中央公民館を核として生涯学習の振興にも努めてまいります。

歴史と文化を大切にした魅力ある町

第5は、歴史と文化を大切にした魅力ある町であります。

酒々井町は、4つの駅と国道51号及び国道296号、さらには、県道が通過しているとても利便性の高い地域であります。また、自然と歴史が生きつき、国指定史跡本佐倉城跡などの歴史的文化遺産が残されております。

そこで、本町固有の文化や文化遺産の保護・継承に努めるとともに、その核としての本佐倉城跡の保存整備を推進してまいります。

また、本町の自然環境や歴史的文化遺産、さらには、産業振興に大きく寄与する地場産品の販売等を活用した観光拠点施設の整備にも努めます。

以上、今後の町政運営の指針について申し上げましたが、大変厳しい行財政環境の中ではございますが、「品格と活力のある新生酒々井町のまちづくり」を進めてまいり所存でありますので、議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信の一端といたします。